

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月2日

【評価実施概要】

事業所番号	272700949		
法人名	株式会社 ゆとり		
事業所名	グループホームゆとり		
所在地 (電話番号)	〒039-1211 青森県三戸郡階上町蒼前東6丁目9-181 (電話) 0178-88-1920		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 9月 17日	評価確定日	平成 20年 12月 2日

【情報提供票より】(平成20年8月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 11月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	6人, 非常勤 1人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	木造トタン屋根 造り		
	2 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(8月28日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82 歳	最低	71 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	木村クリニック、つきだて歯科、シルバー病院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>住宅地の中に立地しており、地域との交流や連携が図りやすい環境にある。町内会に加入し、地域で暮らす高齢者との関わりを多く持ち、地域福祉や町作りに積極的に参加している。グループホーム全体は手作りの物や馴染みのもので装飾され、家庭的で安心できる環境作りを行っている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価後、短い期間であるが、改善点については全スタッフで認識し話し合い少しずつ改善への見直しが行われている。虐待・身体拘束に関しては勉強会の他、委員会を立上げて取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善点については全スタッフで話し合われ実践されているが、評価については管理者とリーダーのみで行われてる。評価の意義や目的の理解、スタッフの意識の統一に繋げていけるよう、評価に対しても全スタッフでの取り組みを期待したい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月に1回開催し情報交換の他、意見等も出して頂けておりケアの実践に活かしている。現在、介護予防教室に向けて活動に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>緊急を要するときや面会時にはもちろん報告している他、毎月の金銭管理の報告と一緒に個人ごとに便りを送付し、状況報告している。窓口を設置している。出されたケースについては口頭その他、連絡ノートを活用して情報伝達し、ケアに活かしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入している。3週間に1回行われている会議にも出席したり、町内会の草取りに参加したりして町作りに協力している。外出時には可能な時には家族の協力を得たり、外出先の協力を得ながら地元の人との交流を図っている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「心豊かなケアの実践と人とのかかわりを大切にする」という理念を掲げている。理念は、昨年見直しがなされた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に取り組む上での職員のスローガンを掲げケアの実践に取り組んでいる。毎月の職員会議の他、第一日曜日には入居者・スタッフとの会議を持ち、理念の共有を図っている。利用者・家族の希望に添えるような取り組みがなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会に加入している。3週間に1回行われている会議にも出席したり、町内会の草取りに参加したりして町作りに協力している。外出時には可能な時には家族の協力を得たり、外出先の協力を得ながら地元の人との交流を図っている。現在、介護予防教室に向けて活動準備をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	改善点については全スタッフで話し合わせ、委員会を立上げたり、勉強会を開催したりして実践されているが、評価については管理者とリーダーのみで行われている。		評価の意義や目的の理解、スタッフの意識の統一に繋げていけるよう、評価に対しても全スタッフでの取り組みを期待したい。
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、情報交換の他、意見等も出して頂き、ケアに活かしている。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	祭りの案内をしたり、相談事があれば担当者と連絡をとっている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	講演を聴く機会を設け、必要な対象者への支援も行っている。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	理解を深める為に、スタッフ全員で勉強会を設けている他、8月より虐待防止委員会を立上げ活動に向け取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>事情により理解が得られないままに利用に至っているケースもあるが、入居後も事ある毎に説明をし納得していただいている。</p>		<p>重度化や終末期への対応についても話しをし、事業所として対応出来る範囲を明確にしていくことが必用と思われず。</p>
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>緊急を要するときや面会時にはもちろん報告している他、毎月の金銭管理の報告と一緒に個人ごとに便りを送付し状況報告をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>窓口を設置している。出されたケースについては口頭その他、連絡ノートを活用して情報伝達し、ケアに活かしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>本部とのやり取りで異動が最小限になるよう調整している。スタッフ・入居者共に同法人小規模多機能型居宅介護「まべちの風」と日常的に交流を行い、顔なじみの関係を作って、異動によるダメージを軽減させている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修の他、今年度は外部研修の機会も多く持っている。ケアをしていく中でその場面毎に助言を行っており、お互いの向上を目指している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加入しており、2～3ヶ月に1回事例検討会を行っている。また、電話での相談や、研修会・事業所見学を通し情報交換している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前訪問をしながら本人・家族との関係作りに努めながら情報を得、本人が安心して生活出来るように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	会議の中で意見や要望を話し合い、本人の気持ちを大切に、個々の出来る事を見つけ互いに支え合い楽しみながら生活している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族からも必要な情報を得ながら、日頃の言動・表情に注意し、ケアしている。又、利用者との会議の中で意見も聞けており少しでも希望に添えるように取り組まれている。</p>		<p>言葉に表せない方へ対しても関心を寄せ行動の意味を理解できるよう向き合っていくことが望まれます。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>担当スタッフとの話し合いで計画されている。</p>		<p>本人の暮らしが豊かになるよう、家族・他のスタッフの気付きや意見も踏まえながら作成される事が望ましい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に一回の見直しとなっている。毎月の会議の中で本人の状況について話し合いが行われている他、家族へも変化時には状況報告をしているが、計画の見直しまでは至っていない。</p>		<p>出された気付きや意見をもとに、検討・見直しを図り、予防的な意味も踏まえ、ケアに反映されるような計画の見直しに繋げて行くことが望まれます。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者の希望に合わせて、天気のいい日にはドライブに出かけたり、文化祭・バザー等にも参加している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からの主治医の受診を継続している。往診も行って頂け、入居者の負担の軽減が図れている。受診の際には家族と協力しながら支援している。通院経過記録を作成し状態把握を行っている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>対象者がおり、家族・医師と今後の方向性について話し合いながら対応している。</p>		<p>AEDの設置・講習会にも参加している。しかし一部のスタッフのみである為に、研修会等を通し、全スタッフが緊急時に備え、使い方やその場に応じた対応が出来るように訓練をしていく事が望まれます。又、今後の変化に備えて家族への説明や、検討、同意を得る準備をしていく事が望まれます。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシー・接遇に関する勉強会を行い、プライバシーに配慮した対応や個人情報の取り扱いに注意して取り組んでいる。しかし外来者からも意見を頂いているように、言葉掛けや対応する姿勢が接する上では強く感じられた。</p>		<p>今後も勉強会や日々のケアの振り返りを通して、スタッフ全員の理解を深めて行く事が望まれます。</p>
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>業務がある中でも個々のペースを大切にしている。希望があれば、なるべく添えるように対応している。日向ぼっこをしたり、思い思いの場所でゆったりと過ごしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>準備から片付けと出来ることは利用者も一緒に行っている。栄養士が献立を作り、それに基づいて必要な食材が配達されているが、個々の嗜好も取り入れながら栄養士と相談し献立を調整している。自分達で作った野菜で漬物を漬けたり食卓での楽しみの一つとなっている。疾病のある方に関しても、医師と相談しながら可能な限り本人の希望に添えるように支援している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日は決められているが、状況や希望に応じ対応している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>外出や行事への参加などを通し気分転換を図っている。畑での作業・モップ掛け等できる事は継続できるように支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>入居者の会話に耳を傾け声を掛け、買い物やドライブに出掛けている。車椅子の方も出先の協力を得ながら外出したり、行政からの催し物の案内も届いた際にはその日の体調をみて外出したりしている。現在はADLの低下から出来る範囲も狭まってきているが、短時間でも敷地内での畑の作物の手入れをしたりしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会を行いながら理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組まれている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は自由に外出する事が出来る。玄関には鈴を活用し外出が分かるようにしている他、外出傾向の強い方には、スリッパに電話番号を記載し事故防止に努めている。現在は近隣の人からも声掛けや連絡を頂いたりしている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の協力を得て訓練を行っている。地域住民への呼びかけも行っているが、協力体制を築くまでには至っていない。		運営推進会議等で呼びかける等、具体的な支援体制作りを期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	業者に依頼し献立・カロリーを計算していただいております。スタッフは摂取量を記録し状況を把握し補食したりしている。又、毎週献立と一緒に寄せられる健康に関する一口メモも活用されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルがあり実践されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>建物の構造も上手く活用しながら、工夫をこらしている。一日の多くを過ごす居間には、季節の花を飾ったり、手作りの装飾がなされている。又、窓からは外の景色が眺められ、自然な光の取り込みも行えている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物を持参して頂けるように働きかけ安心感に繋がるように工夫している。</p>		

 は、重点項目。